

日本女子大学附属豊明小学校

【理事長】佐藤 和人

【校長】篠原 眞澄

〒112-8681 東京都文京区目白台1-16-7 TEL 03-5981-3800(代) <http://www.jwu.ac.jp/elm.html>

【交通】JR山手線目白駅からスクールバス新宿駅西口行で女子大前、東京メトロ有楽町線護国寺駅から徒歩12分・副都心線雑司が谷駅から徒歩7分

興味や関心を引き出す実物教育で、 児童の個性を育てる

大学・大学院に至る一貫教育を展開

1901年、日本で最初の組織的な女子高等教育機関である日本女子大学が開学。女子教育という歴史の新しい1ページを開いた5年後の1906年に、女子の生涯教育の一環として日本女子大学附属豊明小学校が設立されました。

以後、その100年に及ぶ歴史の中で、創立者・成瀬仁蔵先生が唱えた「信念徹底」、「自発創生」、「共同奉仕」の3つの教育の精神のもと、児童の発達段階に応じた学習指導、生活指導を展開。附属豊明幼稚園から大学、大学院にいたる一貫教育を通じて、知育、徳育、体育のバランスのとれた全人教育を目指しています。

特色ある豊明小学校の授業

自学自動・実物教育の実践●基礎学力の定着を基本に、体系的な校外学習、伝統的な「日記」指導、さらに理科、音楽、図工、体育、家庭科、英語など専科制を充実させて、「実物教育」の精神を日常の学習・生活で実践しています。また、情報教育、国際理解教育などを中心に教科の枠を越えた豊明版総合的学習を学年毎に織り込んで自主性を重視した教育に努めています。

1998年落成の新校舎には、「発達段階に応じた生活、学習の場」「充実した運動・学びの施設」「実物教育を可能にする豊かな動線」「自学自動の拠点としての図書館」など、今まで積み重ねてきた伝統と新しい時代への想いが込められ、子どもたちの成長を支えています。

学習指導●実物教育によって、一人ひとりの児童が自ら体験し、実感を持って学びとることを主眼としています。とくに児童自らの興味や関心を引き出し、対象を深く洞察し、理解したうえで、体系的な知識に結びつけるように指導しています。

生活指導●意志力を強めて、自らを律する力をつけるとともに豊かな情操を養い、知・情・意のバランスのとれた人間教育をめざしています。そのため、学校内の諸行事・諸活動を通じて、集団の中での個人の大切さを理解させるとともに、奉仕と協力の精神を育てていきます。

上級学校に進むには

学力、意欲、性行において、附属中学校に進学するにふさわしい児童には進学の推薦がなされます。

豊明小学校の教育

21世紀を迎えた今日、社会での女性の活躍を伝えるニュースはなんと多いことでしょう。このような時代の到来を100年前には、ほとんどの方が予想さえしなかったはずです。

今では当たり前のこととなった「女子として、人としての教育」において、日本女子大学附属豊明小学校は1世紀もの間、建学の理念である「三大綱領」を中心とした「自学自動」を基本姿勢に独自の道を歩んできました。それは、特に、高学年を中心とした奉仕部の活動、全学年を通じて行われる多彩な実物教育等に生かされ、今日では、以下の3つの児童像を理想としています。

「一生懸命がんばる子」

「自分からすすんで行動する子」

「みんなと力をあわせ協力する子」

21世紀を生きる女性のライフプランは、実に豊かに広がっています。まさに生涯教育の時代を迎えた中で、一人ひとりが個性を花開かせ、世界の平和や人類の福祉に貢献できる人間に成長していくことを願っています。



沿革

明治39年4月、森村豊明会の援助を受け、日本女子大学の附属小学校として創設された。校訓に「親切」「正直」「一生懸命」「質素」「自治」の5項目を掲げ、生徒の指針とした。初めは男女共学で発足したが、大正7年入学者から女子のみに限り、以来女子教育の実を挙げた。

2016年度募集要項

募集人員：女子約60人

出願期間：10月1日（木）～10月5日（月）
（郵送のみ）

検定料：25,000円

選考日：11月1日（日）～11月4日（水）

合格発表日：11月5日（木）

【かかる費用（2015年度参考）】

入学金：250,000円

授業料：370,000円（学期分納可）

施設設備費：480,000円

このほかに、豊明会入会金、教材費など。

授業見学会：6月26日（金）

学校見学会：9月12日（土）

併設中学進学状況

◆日本女子大学附属中学校

※原則として希望者全員が進学可能

データパック

◆児童数705人／教員数33人

◆15年度応募者数：238人

◆合格者数：60人

【併設校】

○日本女子大学附属豊明幼稚園

○日本女子大学附属中学校・高等学校

○日本女子大学